

大学院社会福祉学研究科の新型コロナウイルス感染症における対応について

2020年3月24日

大学院社会福祉学研究科

大学院 社会福祉学研究科は、感染予防対策を講じて、授業を実施します。

*今後の状況に応じて、日時等変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

大学院授業の時間割・教室

[4月中の対応]

※留意事項※

- ① 健康チェックの慣行（別紙参照）
- ② 熱など体調が悪い場合は無理に出席しない。（別紙参照）
- ③ 咳エチケット及び手洗い・うがいの慣行。（別紙参照）
- ④ 人と人との間隔をあけて着席すること。
- ⑤ 教室内の換気（2か所以上を開け、2方向の通気を確保する）。
- ⑥ 満員電車となる時間を避けて通学することをこころがける。
- ⑦ 上記のことは、授業だけでなく、研究のみのために大学に来る際も心がける。

◇大学院「社会福祉方法論概論」集中講義(4/4・9・11)

初講日時：4月4日(土) 9:00～ **場所：C601 教室(C棟6階)**

◇対象：新入生

教室を変更して、予定通り実施いたします。

◇大学院の通常授業は、4月10日(金)からの実施を予定しています。

予定通り実施いたします。（時間割参照）

★前回の研究大学院のお知らせ内容【オリエンテーション等について】（社会福祉学研究科）

https://www.jcsw.ac.jp/news/2019/files/20200319_in.pdf

★別紙 [新型コロナウイルス感染症について（保健室より）](#)



感染症対策 へのご協力を お願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、
「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの
前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんを
つけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



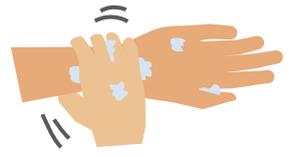
指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんを洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など
人が集まるところでやろう



何もせずに
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを
手でおさえる



マスクが
ない時

とっさの時

マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を
確実に覆う



2 ゴムひもを
耳にかける



3 隙間がないよう
鼻まで覆う

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

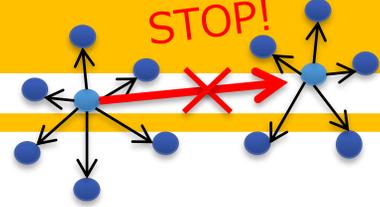
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために



感染拡大を防ぐために

国内では、散発的に小規模に複数の患者が発生している例がみられます。この段階では、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することにより感染拡大を防ぎます。

今重要なのは、今後の国内での感染の拡大を最小限に抑えるため、

小規模な患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことの防止です。

<感染経路の特徴>

※「小規模患者クラスター」とは
感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことです。

- ◆ これまでに国内で感染が明らかになった方のうちの8割の方は、他の人に感染させていません。
- ◆ 一方、**スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テント**などでは、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています。

このように、集団感染の共通点は、特に、**「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」**です。

国民の皆さまへのお願い

- ◇ **換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。**
- ◇ イベントを開催する方々は、風通しの悪い空間や、人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、**風通しの悪い空間をなるべく作らない**など、イベントの実施方法を工夫してください。

これらの知見は、今後の疫学情報や研究により変わる可能性があります。現時点で最善と考えられる注意事項をまとめたものです。

厚生労働省では、クラスターが発生した自治体と連携して、クラスター発生の早期探知、専門家チームの派遣、データの収集分析と対応策の検討などを行っていくため、国内の感染症の専門家で構成される「クラスター対策班」を設置し、各地の支援に取り組んでいます。